

平成 27 年度実施事業 中間報告書 (12 月 1 日現在)

コース	自主事業コース ・ 協働市民提案コース ・ 協働行政提案コース		
事業の名称	子ども観光大使 IN 倉敷 2015 年度		
実施団体名	倉敷子ども観光大使実行委員会		
市担当課名			
総事業費	約 60 万円	市の負担額	30 万円 (9 月からの会場)
<p>事業の概要 * 事業の全体像を簡潔に記入してください。</p> <p>観光立国の基本理念である「住んでよし、訪れてよしの国づくり」の実現のため、観光に対する興味や理解を教育の早い段階から促し、地域の魅力を発信できる担い手が必要であるとの認識に立ち、「子ども観光大使 IN 倉敷」の認定事業を実施する。2014 年度倉敷市児島で全 5 会場の子どもの観光大使教室を行った。2015 年はエリアを拡大し、倉敷市全域で 7 会場と子ども観光大使認定式を行った。</p> <p>のべ 175 名の児童が参加した。毎回の会場の基本的な流れは以下の通りである。</p> <p>見学 地域で有名な所を見学し、その土地の良さを現地で感じてもらえるようにする。</p> <p>体験 地域で有名な所で物を作ったり、絵を描いたりして地域のよさを発見できる活動をする。</p> <p>発信 地域の良さを様々な人に発信し、地域のよさを広げていけるようにする。発信手段としては、映像や絵、俳句などである。</p> <p>検定 当日学んだことを 3 問の問題に答えることが検定である。</p> <p>認定 検定問題で合格すると認定証が授与される。</p>			
<p>事業の成果</p> <p>* 平成 27 年度事業申込書に記載した「事業実施後の到達点」に対する成果を記入してください。また、実施した事業の詳細は「事業実施記録」に記入してください。</p> <p>第一に、地域の良さを知ったり体験したりすることで、地域がより好きになったり誇りに思ったりする子どもが育った。郷土愛の醸成を図る機会となった。</p> <p>第二に、親子のふれあいにより絆がより強くなった。原則、保護者同伴である。一緒に活動を楽しむことでふれあう体験がうまれていた。</p> <p>第三に、地域が活性化させることができた。子ども観光大使のイベントにより、その地域に関係者が訪れ活性化した。また、子どもが地域の良さを発信することで地域に訪れてもらうきっかけを作ることができた。</p>			
<p>* 事業の成果を自己評価すると何点になりますか。計画通りであれば 100 点とします。</p> <p>なお、想定を大きく上回る成果を得ている場合は 100 点を超える点数を記入してください。</p>			
			80 点

事業の課題 *事業を実施する中で浮上してきた課題を記入してください。

(1) スタッフの不足

会場数が増えると、準備や当日の運営でスタッフの人手が必要になってくる。倉敷市子ども観光大使実行委員会は、実働部隊は7名程度である。当日のボランティアだけでも構わないので、人手があればよかった。今、岡山県にエリアを広げて24会場開催している。ますます人手が必要である。

(2) 集客

テレビ・ラジオや新聞等により、少しずつ子ども観光大使が市内に広まっている。しかし、まだ認知度は高いとはいえない。プレスリリースを行い、もっと参加者を増やしたい。

(3) 授業作り

地域の魅力を体験し、発信する子を育てるための授業作りが必要だと感じる。子ども観光大使を運営する実行委員会は、教師が中心である。「TOSS」という教員の団体である。授業づくりが研究の就寝である。何会場か授業をつくり、実施した。子どもや保護者の反応がとてもよかった。「もっと知りたい。」というアンケートも多数いただいた。本業の学校の業務とのバランスをとりながら、授業づくりにも取り組んでいきたい。

(4) 子ども観光大使に認定された後の動き

現在、「子ども観光ガイド」という企画に取り組んでいる。観光地でガイドをする企画である。小学校高学年・中学生対象である。10月から12月まで3回計画で考えていたが、参加者がいずれも集まらず延期になっている。子ども観光大使に認定されたあと、どうするのか。活躍の舞台を作って提案したい。いまは、来年岡山で行われる全国大会への出場を計画中である。

目標の進捗状況

*事業実施前に設定した目標のうち、特に力を入れて取り組んでいる目標を2つまで記入してください。また、その目標の進捗状況をパーセントで記入してください。すでに達成できている場合は100%になります。

第一に、子ども観光大使にのべ100人の参加者があること。 175名で達成

第二に、年間で倉敷子ども観光大使が30人生まれること。 32名で達成

第三に、アンケートで80%以上の子どもに地域の魅力が分かったと答えてもらうこと、保護者・地域の方により体験になったといってもらうことである。 達成

事業実施記録 *実施した事業の詳細を記入してください。

実施日時	実施内容	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
1月17日 (土)	茶屋町の鬼(鬼の和菓子作り、鬼太鼓体験) プログラム 1 開会式 2 ご当地フラッシュカード 3 お菓子作り体験(文近堂) 4 鬼太鼓体験(鬼太鼓保存会) 5 写文俳句・映像で発信 6 子ども観光大使検定	茶屋町公民館	スタッフ6名	小学生14名が参加

	7 閉会式 修了書授与、写文俳句の賞発表			
2月8日 (日)	大原美術館 1 開会式 2 ご当地フラッシュカード 3 対話型鑑賞 4 親子鑑賞 5 写文俳句・映像で発信 6 子ども観光大使検定 7 閉会式 修了書授与、写文俳句の賞発表	大原美術館	6名	小学生17 名が参加
3月1日 (日)	とこはい下津井節 1 開会式 2 お手本をみよう 3 みんなで踊ろう 4 くわしくなろう 5 踊って上手になろう 6 写真俳句で発信しよう 7 子ども観光大使検定 8 閉会式	児島市民交流センター	7名	小学生19 名が参加
3月8日 (日)	玉島醤油絞り体験 1 開会式 2 ご当地フラッシュカード 3 しょう油のおいしい秘密 4 醤油しぼり&びん詰め体験 5 観光すごろく、観光テキスト ご当地観光チャレラン 6 写文俳句 7 子ども観光大使検定 8 閉会式	玉島味噌醤油合資会社	8名	小学生80 名が参加
9月20日 (日)	吉備真備(ふれあい囲碁体験) 1 開会式 2 吉備の真備 授業 3 まきび記念館 見学・質問 4 ふれあい囲碁 体験 5 写文俳句・映像発信 6 子ども観光大使検定 7 閉会式 修了証授与	真備記念館	5名	小学生16 名が参加

<p>1 1 月 7 日 (土)</p>	<p>倉敷はりこ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会式 2 授業 倉敷はりこ(土師) 3 倉敷はりこ作業所見学・質問 4 年賀状を作って発信 授業 5 年賀状について 授業 6 観光大使検定 7 閉会式 修了証授与 	<p>健康福祉プラザ 倉敷はりこ生水さ ん宅</p>	<p>スタッフ4名</p>	<p>小学生 11 名が参加</p>
<p>1 1 月 2 2 日(日)</p>	<p>連島 歴史の宝物発見</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会式 2 連島の伝説 八十八ヵ寺など のお話 3 フィールドワーク 4 写真俳句で発信 5 子ども観光大使検定 6 認定書授与 	<p>連島公民館</p>	<p>6名</p>	<p>小学生 6名 が参加</p>
<p>1 2 月 1 2 日(土)</p>	<p>倉敷市子ども観光大使 認定式</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会式 2 倉敷市の授業 3 英会話でガイドの授業 4 スライドショー 5 認定証授与 6 子ども観光大使・誓いの言葉 7 閉会の言葉 	<p>芸文館</p>	<p>6名</p>	<p>32名認定 (うち12 名出席)</p>